

鳥栖工場

高性能・高付加価値タイヤの生産技術を
グローバルに発信する拠点

操業開始 1970年7月（国内タイヤ工場として6番目に操業開始）
敷地面積 187,000m²
生産品目 超扁平・高性能スポーツカー用タイヤを始めとする乗用車用、
小型トラック用タイヤ



①正門 ②厚生会館 ③事務所 ④押出・圧延工程 ⑤才断工程 ⑥成型工程
⑦加硫工程 ⑧検査工程

高性能、高付加価値タイヤのグローバル供給基地

鳥栖工場は1970年、ブリヂストン6番目の国内タイヤ工場として操業を開始しました。モータリゼーションの進展に伴い、高性能タイヤを生産できる拠点が必要となったため、創業の地久留米と筑後川を隔てて至近距離にある佐賀県鳥栖市に乗用車用ラジアルタイヤ専門工場を建設しました。現在では技術革新が更に進み、鳥栖工場はブリヂストングループの中でも最高水準の生産技術を持つ工場として高性能、高付加価値な乗用車用ラジアルタイヤを世界に供給しています。

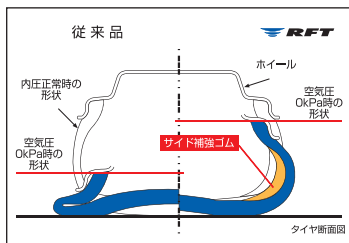
「POTENZA」、REGNO」、ランフラットテクノロジー採用タイヤ

鳥栖工場では、当社の「POTENZA」ブランドや「REGNO」ブランドの中でも、扁平率^(注)が低い高性能タイヤを主に生産しています。また、パンクなどによってタイヤの空気圧が失われた場合でも、一定距離を所定のスピードで走行できるランフラットテクノロジー採用タイヤも生産しています。ランフラットテクノロジー採用タイヤは、パンクした際も、危険な路上でのタイヤ交換をせずに安全な場所まで移動できるため、スペアタイヤが不要となり、車両の軽量化・燃費の向上、省資源化にもつながる、環境に貢献する商品です。

(注) 扁平率：扁平率は、タイヤの幅に対する高さの比率を表す数値です。また、扁平率が同じタイヤの総称を「シリーズ」といいます（例：65シリーズ）。



POTENZA S001 RFT



サイド補強型ランフラットテクノロジー採用タイヤのメカニズム



環境に配慮した工場を目指して

ブリヂストンは「2050年、サステナブルなソリューションカンパニーとして、社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社」を目指しています。その取り組みの一つとして国内工場のボイラー燃料を重油から都市ガスへ転換を進めており、鳥栖工場にも都市ガスによる新型ボイラー設備を導入しました。このシステムは、従来の重油を燃料としていたボイラーと比べNOxや煤塵の排出量を大幅に削減することができます。また、小型ボイラーを複数設置することにより、工場に必要な分だけの蒸気を供給可能なため、不要なCO₂の発生量を減らし環境負荷低減に貢献しています。加えて、定期的に稼働していないボイラーの点検も容易になります。ブリヂストンは、環境保全を企業経営の重要課題の1つと位置付け、環境に配慮した工場づくりを行っています。



新ボイラーシステム

最高の生産技術を世界の工場へ

最新の生産技術やノウハウの多くが、鳥栖工場で開発され培われています。それらは人的・技術的な交流を通じて、世界各地の工場に広がり、グローバルでの高性能、高付加価値な乗用車用ラジアルタイヤの生産に活かされています。

地域社会の一員として

鳥栖工場は地域社会とのコミュニケーションにも力を注いでいます。鳥栖工場と久留米工場の社員で構成される「ブリヂストン吹奏楽団久留米」は地元での定期的な演奏会に留まらず、米国や中国での演奏会を開催するなど、演奏を通じて世界の人々に感動を提供しており、2003年には地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞しました。



ブリヂストン吹奏楽団久留米

空気圧点検

ご存知でしたか、タイヤの空気圧は自然に低下します（1ヶ月で約10～20kPa）。走る前に冷えている状態で定期的（月1回）に点検してください。適正空気圧は車種によって異なります。運転席側のドア附近に貼付された、空気圧表示シールで確認してください。

エアゲージをお持ちでない方は・・・



マークのある販売店では、タイヤの安全点検を実施しております。お気軽にお立ち寄りください。



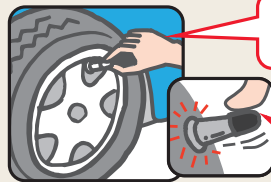
タイヤが冷えているのを確認してから
走行直後はタイヤ、ホイールが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。



エアゲージ
ホイールにあるバルブの口にセットして空気圧の過不足を測ります。



石鹸水
石鹸水をつかって、バルブからの空気の流れがないか確認します。



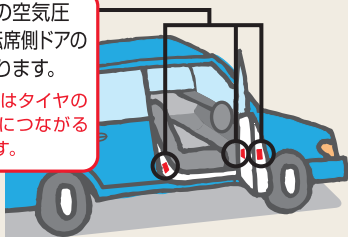
バルブキャップ
点検後は、バルブのキャップを忘れがちです。しっかり締め直しましょう。

バルブキャップはしっかりと締めよう。

バルブの根元も痛んでいないか空気もれがないかチェック！

●空気圧不足の時は、お近くのタイヤショップかガソリンスタンドなどで充填してください。

メーカー指定の空気圧表示シールは運転席側ドアのこの辺りにあります。
空気圧の過不足はタイヤの性能低下や事故につながるおそれがあります。



スペアタイヤの点検も忘れずに！

チッ素ガスのお勧め

タイヤの空気圧は時間とともに少しずつ低下します。チッ素は空気に比べこの“自然低下”を抑えることができます。

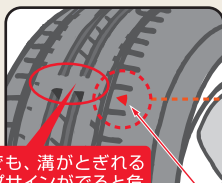
チッ素ガス充填のメリット

- ① 空気圧に比べ、内圧の低下が少ないため、管理がしやすい。
- ② 内圧の低下を抑えることにより、操縦安定性の維持向上、偏摩耗の抑制、燃費の維持に貢献する。



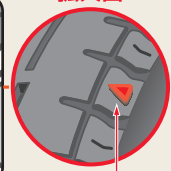
タイヤの外観チェック

これが摩耗の危険サインです！



1ヶ所でも、溝がとぎれるスリップサインがでると危険です

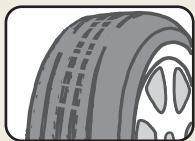
拡大図



これがスリップサイン表示マークです

残り溝が1.6ミリになる目安としてスリップサインを設けています。スリップサインが1ヶ所でも出ると使用することを法律で規制されています。

タイヤチェック、3つのポイント



①ミゾ

すり減ったタイヤの雨の日は、制動距離が伸びて危険。ハイドロプレーニング現象も起こります。



②キズ

小さなキズが大きなバーストを起こす可能性があります。



③ヒビ

古く劣化してヒビ割れができていないかをチェック。

タイヤの空気圧が適正值より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度それぞれ燃費が悪化します。※1

燃費悪化率2%（市街地）、月に1,000km走るとして燃費=10km/ℓ、ガソリン代=146円/ℓ ※2 で

なんと ガソリン代 約**3,500円/年**の損失 ※3

更に **CO₂排出量も増加します。**

出典 / ※1：（社）日本自動車工業会

※2：石油情報センター2007年8月平均レギュラーガソリン単価

※3：（社）日本自動車工業会のデータに基づきブリヂストンにて試算

当社に関する情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.bridgestone.co.jp>

株式会社ブリヂストン

鳥栖工場
佐賀県鳥栖市轟木町1000 〒841-0061
電話 (0942) 83-5111



鳥栖工場 / 鹿児島本線 鳥栖駅下車 車10分
九州自動車道 鳥栖ICより約20分